

公望可臣印全集

第十九卷

谷崎潤一郎全集 第十九卷

定價一五〇〇圓

昭和四十三年五月十一日印刷
昭和四十三年五月二十五日發行

著者 谷崎潤一郎

發行者 山越 豐

印刷者 白井倉之助

發行所 中央公論社

東京都中央區京橋二一一
電話（五六一）五九二一
振替東京三四



目次

瘋癲老人日記

一

四季

一七五

台所太平記

二〇一

雪後庵夜話

三七五

京羽二重

四六一

おしやべり

四七五

七十九歳の春

四九一

瘋癲老人日記

昭和三十六年十一月號—昭和三十七年五月號「中央公論」

十六日。……夜新宿ノ第一劇場夜ノ部ヲ見ニ行ク。出シ物ハ「恩讐の彼方へ」「彦市ばなし」「助六曲輪すけろくくるわ菊」もくぎくデアルガ他ノモノハ見ズ、助六ダケガ目的デアル。勘彌ノ助六デハ物足りナイガ、訥升ガ揚卷ヲスルト云フノデ、ソレガドンナニ美シイカト思ヒ、助六ヨリモ揚卷ノ方ニ惹カレタノデアル。婆サント颯子ト同伴。淨吉モ會社カラ直接驅ケツケル。助六ノ芝居ヲ知ツテキルノハ予ト婆サンダケ。颯子ハ知ラナイ。婆サンモ團十郎ノハ見タコトガアルカモ知レナイガ、記憶ガナイ。先々代ノ羽左衛門ノハ一度カ二度見タト云フ。團十郎ノヲハツキリト見テキルノハ予一人デアル。アレハ明治三十年前後、十三四ノ頃ダツタと思フ。團十郎ノ助六ハコノ時ガ最後デ、三十六年ニハ死ンデキル。揚卷ハ先代歌右衛門、ソノ時ハマダ福助ト云ツテキタ。意休ハ福助ノ父ノ芝翫デアツタ。予ノ家ガ本所割下水ニアツタ時代デ、兩國廣小路ノ、アレハ何ト云ツタツケナ、何トカ云フ有名ナ繪草紙屋ノ店頭ニ助六ト意休ト揚卷ノ三枚續キノ錦繪ガ掲ゲテアツタノヲ今モ忘レナイ。

予ガ羽左衛門ノ助六ヲ見タ時ハ、意休ガ先代中車、揚卷ガヤハリ昔ノ福助、當時ノ歌右衛門ダツタと思フ。何デモ冬ノ寒イ日デ、羽左衛門ハ熱ガ四十度近クモアツタニ拘ラズ、ブルブル震ヘナガラ水入リヲシタ。カンペラ門兵衛ハ特ニ淺草ノ宮戸座カラ中村勘五郎ガ買ハレテ來テ演ジタガ、コレガ妙ニ印象ニ殘ツテキ

ル。兎ニ角予ハ助六ノ芝居ガ好キナノデ、助六ガ出ルト聞クト、勘彌ノデモ見ニ行キタクナル。況ンヤ御
蟲貞ノ訥升ガ見ラレルニ於テヲヤ。

勘彌ノ助六ハ初役デアラウガ、ヤハリドウモ感心出來ナイ。勘彌ニ限ラズ、近頃ノ助六ハ皆脚ニタイツヲ
穿ク。時々タイツニ皺ガ寄ツタリシテキル。コレハ甚ダ感興ヲ殺グ。アレハ是非素脚ニ白粉ヲ塗ツテ貫ヒ
タイ。

訥升ノ揚卷ハ十分満足シタ。コレダケデモ來タ甲斐ガアルと思ツタ。福助時代ノ昔ノ歌右衛門ハイザ知ラ
ズ、近頃コンナ美シイ揚卷ヲ見タコトハナイ。イツタイ予ニハ *Pederasty* ノ趣味ハナイノダガ、最近不
思議ニ歌舞伎俳優ノ若イ女形ニ性的魅力ヲ感ズルヤウニナツタ。ソレモ素顔デハ駄目ダ。女裝シタ舞臺ノ
上ノ姿デナケレバ駄目ダ。サウ、ソレデ思ヒ出シタガ、予ニモ全然ベデラスティーノ趣味ガナイトハ
云ヘナイカモシレナイ。

若イ時ニタツタ一遍ダケ奇怪ナ經驗ヲシタコトガアル。昔新派ニ若山千鳥ト云フ美少年ノ女形ガキタ。山
崎長之輔ノ一座ニ屬シ中洲ノ眞砂座ニ出テキタガ、ヤ、老イテカラハ六代目ノ面差おもてざしニ似テキタ先代嵐芳三
郎ノ相手役トシテ宮戸座ニ出テキタ。老イタト云ツテモ三十ソコ、デナホ美シカツタガ、見タトコロ年
増女ト云フ感じデ、トテモ男性トハ思ヘナカツタ。眞砂座時代紅葉山人ノ「夏小袖」ノオ嬢サンニナツタ
時、予ハ特ニ彼女、デハナイ彼ニ魅惑サレタ。何トカ出來タラ一タ彼ヲオ座敷ヘ呼び、舞臺デ見タ通りノ
女裝ヲサセテ、チョットデモイ、カラ一緒ニ寢テミタイ。冗談ニソンナコトヲ云ツタラ、オ望ミナラサセ
テアゲマスト云ツテクレタ或ル待合ノ女將ガキタ。ソシテ圖ラズモ予ノ希望ハ叶ヘラレタガ、首尾ヨク同

衾シ、事ヲ行フニ至ツテモ、普通ノ藝妓ト普通ノ方法デ行ツテキルノト異ルトコロハナカツタ。ツマリ彼ハ最後マデ男子デアルコトヲ相手ニ感ジサセズ、女性ニナリ切ツテキタ。鬢ヲツケタマ、舟底形ノ枕ニ寢、暗イ部屋ノ褥しとねノ中デ、友禪ノ長襦袢ヲ着テノコトデハアルガ、實ニ異常ナ技巧ヲ持ツテキタモノデ、マコトニ不思議ナ經驗デアツタ。斷ツテオクガ彼ハ所謂 Hernaphrodite デハナイ、立派ニ男性ノ器具ヲ備ヘテキタ。タゞ技巧ヲ以テソレヲ感知セシメナカツタノデアル。

ダガ如何ニ技巧ガ巧妙デアツテモ、モト／＼予ノ趣味デハナカツタノデ、タツタ一遍好奇心ヲ満足サセタバケデ、ソレキリ同性ト關係シタコトハナカツタ。然ルニ七十七歳ノ今日ニナリ、既ニ左様ナ能力ヲ喪失シタ狀態ニナツテカラ、男裝ノ麗人ナラヌ女裝ノ美少年ニ魅力ヲ感ジ出シタノハナゼカ。青年時代ノ若山千鳥ノ記憶ガ今ニ及ンデ甦よみがへツテ來タノカ。ドウモサウデハナイラシイ。ソレヨリ何カ不能ニナツタ老人ノ性生活——不能ニナツテモ或ル種ノ性生活ハアルノダ——ト關係ガアルラシイ。……

今日ハ手が疲レタ。コレデ止メル。

十七日。昨日ノアトラモウ少シ續ケル。入梅中デ雨モ降ツテキタノニ、昨夜ハナカ／＼暑カツタ。尤モ劇場内ハ冷房シテキタガ、コノ冷房ガ予ニハ禁物ナノダ。オ蔭デ左手ノ神經痛ガ一層痛ミ、皮膚感覺ノ麻痺モ激シクナル。イツモハ手頸カラ指ノ先マデガ疾患部ナノデアルガ、手頸カラ上、肘ノ關節マデガ痛ミ、時ニハ肘ヲ越エテ肩ノ邊マデ波及シタ。

「ソレ御覽ナサイナ、ダカラ云ハナイコツチャナイ。何モソンナ思ヒヲシテマデ見ニ來ルコトハナイヂヤ

アリマセンカ」

ト婆サンガ云ツタ。

「コンナニ流芝居」

「イヤサウ云ツタモンデモナイサ。己ハアノ揚卷ノ顔ヲ見テルダケデモイクラカ痛ミヲ忘レルンダ」

予ハ婆サンニ窘^{たじな}メラレテ一層依^い怙^こ地^ちニナツタ。ソノ癖手ノ冷エ方ハマス／＼激シカツタ。紗ノ夏羽織ニポーラーノ單衣、紹ノ長襦袢ヲ着テ、シカモ左ノ手ニハ鼠ノ毛糸ノ手袋ヲ簞メ、白金懷爐ヲハンケチニ包ンデ握ツテキタ。

「デモ訥^だ升ハホントニ綺麗ダワ。オ爺^{ぢい}チヤンガア、仰ツシヤルノモ無理ナイワ」

ト颯子ガ云ツタ。

「君……」

ト云ヒカケテオ前ト云ヒ直シ、

「オ前ニモ面白味ガ分ルカネ」

ト淨吉ガ云ツタ。

「巧イ拙イハ分ラナイケレド、顔ヤ姿ノ綺麗サニハ感心スルワ。オ爺チヤン、明日晝ノ部ヲ見ニイラツシヤラナイ？『河庄』ノ小春ガ又キツトイ、ワ。御覽ニナルナラ明日ニナスツタラ。先ニ行クホド暑クナリマス」

正直ノトコロ、予ハ手ノ痛サニ閉口シテ晝ノ部ヲ見ルノハ止メヨウカト思ツテキタノダガ、婆サンニ窘メ

ラレタノデ却ツテ依怙地ニナリ、痛イノヲ怵ヘテ明日ノ晝ニ又來ヨウカト思ツテキタノダツタ。颯子ハ予ノサウ云フ氣持ヲ實ニ早ク見テ取ル。颯子が婆サンニオ覺エノ惡イノハ、コンナ場合、婆サンヲ無視シテ予ノ氣持ヲ迎ヘヨウトスルカラナノダ。彼女モ訥升ガ好キナノデハアラウガ、或ハ治兵衛ノ團子ノ方ニヨリ興味ガアルノカモ知レナイ。……

今日ノ晝ノ部「河庄」ノ場ハ午後二時開演三時二十分頃ハネル。今日ハ炎天デ昨日ヨリ一層暑イ。車内ノ暑サモ思ヒヤラレルガ、冷房ガヒトシホ嚴シイニ違ヒナク、手ノ痛サノ方ガ心配デアル。昨夜ハ夜デヨカツタケレドモ、コレカラダト時間ガ時間ダカラ、必ズドコカデモ隊ニ打ツカリマス、米國大使館ト國會議事堂ト南平臺ヲ結ブ線ヲドコカデ横切ラナケレバナリマセン、ソノ積リデ早目ニオ出カケニナツテ下サイト、運轉手ガ云フ。已ムヲ得ズ一時ニ出カケル。今日ハ三人デ淨吉ハ缺席。

幸ヒ大シタ妨害モナク到着。マダ段四郎ノ「惡太郎」ガ濟ンデキナイ。ソレハ見ナイデ食堂ニ這入リ一ト休ミスル。皆ガ飲ムノデ予モアイスクリームヲ注文シタガ、婆サンニ止メラレル。「河庄」ハ小春訥升、治兵衛團子、孫右衛門猿之助、女房オ庄宗十郎、多兵衛團之助等々デアル。昔先代鴈治郎ガ新富座デコレヲ出シタ時ノコトヲ思ヒ出ス。アノ時ノ孫右衛門ハコノ猿之助ノ父段四郎、小春ハ先代梅幸デアツタ。團子ノ治兵衛ハ如何ニモ一生懸命デ、全力ヲ盡シテキルコトハ認メラレルガ、餘リ一生懸命過ギ、緊張シ過ギテコチ／＼ニナツテキル。尤モアノ若サデアノ大役ヲスルノデアルカラ無理モナイ。努力ニ免ジテ將來ノ大成ヲ祈ルノミデアル。同ジ大役デモ大阪ノモノデナク、江戸ノモノヲ選ンダ方ガヨカツタと思フ。訥升ハ今日モ綺麗デアツタガ、揚卷ノ方ガヨカツタ氣ガスル。後ニ「權三と助十」ガアツタが見殘シテ出ル。

「コ、マデ來タンダカラチョツト伊勢丹へ寄ラウ」

ト、婆サンノ反對ヲ豫期シテ云フト、

「又冷房デモイ、ンデスカ、コノ暑イノニ早くオ歸リニナツタラドウ」

ト果シテ云フ。

「コノ通り」

ト、予ハ持ツテキルスネークウツドノステツキノ石突^{いしづま}ヲ示シ、

「コ、ントコロガ取レチマツタンダヨ。ドウ云フモンカステツキノ石突ハメツタニ長持チシナイモンダネ。必ズ二三年デ取レチマフネ。伊勢丹ノ特選賣場へ行ツタラ何カシラ見ツカルダラウ」

實ハ外ニ少シ考ガアツタンダガ、ソナコトハ口ニシナカツタ。

「野村サン、歸リモデモハ大丈夫カシラ」

「エ、大丈夫ダト思ヒマス」

運轉手ノ説ニ依ルト、今日ハ全學連ノ反主流派ノデモダサウデ、二時カラ日比谷ニ集リ、主トシテ國會警視廳邊ヲ襲フラシイノデ、ソレニ打ツカラナイヤウニスレバイ、ト云フ。紳士用ノ特選賣場ハ三階ダツタガ、生憎好マシイステツキハナカツタ。ツイデニ見テ行カウト、二階ノ婦人物ノ特選賣場ヲ覗ク。全館中元賣リ出シノ最中デ、相當ニ雜踏シテキル。サンマ^イイタリアン^フアツシオン^ノ陳列ガアツテ、有名ナデザイナーノデザインニ依ルイタリー好ミノオートクチュールノ服ガ澤山飾ラレテキル。颯子ハ、

「マア素敵！」

ヲ連發シテ容易ニ動かウトシナイ。颯子ノタメニカルダンノ絹ノネツカチーフヲ買ツテヤル。三千圓ホドデアル。

「コンナノトテモ欲シインダケレド、オ高クツテ手が出ナイワ」

ト、塙太利製ラシイページジュノスウエードノ、口金ニサファイヤノイミテーションラシイ石が這入ツテキルハンドバツグノ前デ、颯子ハ頻リニ嘆聲ヲ發シテキル。定價ハ二萬何千圓デアル。

「淨吉ニ買ハセルサ、ソレクラキナモン」

「駄目ヨ、彼ハケチダカラ」

婆サンハ默ツテ何モ云ハナイ。

「モウ五時ダネ、オ婆チヤン、コレカラ銀座へ出テ晩飯ヲ喰ツテ歸ラウデヤナイカ」

「銀座ノドコヘ」

「濱作へ行カウヨ、コノ間カラ鰻ガ喰ヒタクツテ仕様ガナインダ」

颯子ヲ呼ンデ濱作ニ電話サセ、カウンターの席ヲ三四人分取ツテオイテ貰フ。六時ニ行クカラ淨吉モ來ラレタラ來ルヤウニ云ハセル。野村曰ク、デモハ夜遅クマデ續キ、霞ヶ關カラ銀座へ出テ十時ニ解散スル、今カラ濱作ヘイラツシヤレバ、八時迄ニハ歸レマスカラ大丈夫デス、但シ少シ遠廻リシテ市ヶ谷見附カラ九段ヲ經、八重洲口へ出テ行ケバ、デモニ打ツカル恐レハナイト思ヒマス、ト云フ。……

十八日。昨日ノ續キ。豫定通り六時濱作着。淨吉ノ方ガ先ニ來テキル。婆サン、予、颯子、淨吉ト云フ順

ニ腰カケル。淨吉夫婦ハビール、予等ハ番茶ヲタムブラーニ入レテ貰フ。突キ出シニ予等ハ瀧川ドウフ、淨吉ハ枝豆、颯子ハモヅク。予ハ瀧川ドウフノ他ニ晒シ鯨ノ白味噌和ヘガ欲シクナツテ追加スル。刺身ハ鯛ノ薄ヅクリ二人前、鰻ノ梅肉二人前。鯛ハ婆サント淨吉、梅肉ハ予ト颯子デアル。焼キ物ハ予一人ダケが鰻ノ附焼、他ノ三人ハ鮎ノ鹽焼、吸物ハ四人共早松ノ土瓶蒸シ、外ニ茄子ノ嶋焼。

「マダ何カ喰ツテモイ、ナ」

「冗談ヂヤナイ、ソレデ足リナインデスカ」

「足リナイコトハナインダガ、コ、へ來ルト關西ノモノガ戀シクナルンダ」

「グジノ一ト鹽ガアリマスゼ」

ト淨吉ガ云フ。

「オ爺チャン、コレ召シ上ツテ下サラナイ？」

颯子ノ前ニ鰻ガソツクリ残ツテキル。彼女ハ残リヲ予ニ食べサセル積リデ、ホンノ一片カ二片食べタマケデアル。實ヲ云フト予モ彼女ノ喰ヒ残シガ廻ツテ來ルコトヲ豫期シテ——或ハソレガ今夜ノ目的デ——
「コ、へ來タノカモ知レナイ。」

「困ツタナ、僕ハトウニ食べチャツタンデ、梅肉ヲ下ゲテ行ツチャツタンダ」

「梅肉ダツテコ、ニアルワ」

ト、颯子ハ鰻ト一緒ニ自分ノ梅肉ヲ廻シテヨコシナガラ、

「梅肉ダケ別ニ取りマセウカ」

「ソレニハ及バナイ、コレデ結構」

颯子ハタツタ二片ダケシカ食ベナイノニ、梅肉ガワリニ穢ラシク喰ヒ荒サレテキル。女ラシクナイ食べ方デアル。或ハコレモワザトデハナイカト思フ。

「コ、ニ鮎ノ腸モ取ツトキマシタヨ」

ト、婆サンガ云フ。婆サンハ焼鮎ノ骨ヲ綺麗ニ抜クノガ得意ナノデアル。彼女ハ頭ト骨ト尾トヲ皿ノ一方ニ片寄セテ、身ヲ一片モ残サズニ猫ガ舐メタヤウニ食ベル。ソシテ予ノタメニ腸ダケヲ残シテオクノガ習慣ニナツテキル。

「ワタクシノモゴザイマス」

ト、颯子ガ云フ。

「ワタクシハオ魚ヲ食ベルノガ下手デスカラ、オ婆チヤンノヤウニ綺麗デハゴザイマセンケレド」

颯子ノ鮎ノ残骸ハ成ル程マコトニキタナラシイ。梅肉以上ニ喰ヒ散ラサレテキル。コレモ意味ガナクハナイヤウニ予ニハ取レル。

食事中ノ雑談ニ、淨吉ガ二三日中ニ札幌へ出張スルカモ知レナイト云フ。滞在ハ一週間ノ豫定ダガ、來ルナラ一緒ニ來テモイ、ト云フ。颯子ハ考ヘテ、北海道ノ夏ヲ見タイト思ツテタンダケレド、今度ハ止メルワ、二十日ニ春久サンニ誘ハレテボクシングニ行ク約束シチャツタモンダカラ、ト云フ。淨吉ハサウカト云ツタキリ、強ヒテ來イトモ云ハナイ。七時半頃歸宅。

十八日朝經助ガ學校ニ、淨吉ガ會社ニ出テ行ツタ後、庭ヲ散歩シテ四阿あづまニ休ム。四阿マデ三十メートル餘

デアルガ、コノトコロ日々脚ノ運動が不自由サラ加へ、今日ハ昨日ヨリモ一層歩キニクイ。入梅中ハ濕氣ガ多イノデソノセキモアルガ、去年ノ入梅中ハコンナデハナカツタ。手ノヤウナ痛ミヤ冷感ハナイガ、何トモ不思議ニ重ミガカヘリ、モツレルヤウニナル。ソノ重ミハ膝頭ニ來ルコトモアリ、足ノ甲ヤ足ノ裏ニ來ルコトモアリ、日ニヨツテ違フ。醫師ノ意見モマチ／＼デアル。往年ノ輕微ナ腦溢血ノ痕跡ガマダ残ツテキ、腦中樞ニ僅カナ變化ガアルノデ、ソレガ脚ニ影響シテキルノダトモ云ヒ、又レントゲンデ檢ベテミルト頸椎ト腰椎トガ曲ツテキルカラデアルトモ云フ。ソノ頸椎ヤ腰椎ヲ矯正スルニハ寢臺ヲ斜面ニシタ上ニ寢テ首ヲ上方ニ吊リ上ゲタリ、腰ニギブスデコルセツトヲ作り、當分ソレヲ箠メル必要ガアルトモ云フ。予ハトテモソナ窮屈ナ姿勢ニハ耐ヘラレナイノデ、コノマ、デ我慢シテキル。シカシ歩キニク、テモ、毎日少シヅ、デモ歩カナケレバイケナイ。歩カズニキルト、今ニ本當ニ歩ケナクナリマスト嚇カサレテキル。時々ヨロケテ倒レサウニナルノデ、寒竹ノステツキヲ衝イテルガ、大概颯子カ看護婦カ誰カバツイテ來ル。今朝ハ颯子デアル。

「颯子、コレ」

四阿^{あづまや}デ休ンダ時、予ハ袂カラ小サクタ、ンダ札束ヲ取り出シテ手ニ握ラセル。

「何デスノ、コレ？」

「二萬五千圓アル、昨日ノハンドバツグヲ買ツタライ、」

「ドウモ濟ミマセン」

颯子ハ急イデブラウスノ内側ヘ札束ヲ放リ込ム。

「ダケドアレヲ提ゲテ歩イタラ、僕が買ツテヤツタンダト、婆サンが感ツキヤシナイカナ」

「オ婆チヤンハアノ時見テイラツシヤラナカツタワ、ドン／＼歩イテ先ノ方へ行ツテラツシヤイマシタワ」

ヤツパリサウダツタナト予モ思フ。

十九日。日曜デアルニモ拘ラズ、淨吉ガ午後羽田カラ立ツ。颯子モスグ後カラヒルマンデ出カケル。颯子ノ運轉デハ危ナガツテ家ノ者ハメツタニ乗ラナイ。自然彼女ノ専用ニナツテキル。彼女ハ夫ヲ見送りニ行クノデハナイ。スカラ座ヘアラン・ドロンノ「太陽ガイツパイ」ヲ見ニ行クノデアル。今日モ多分春久ト一緒ラシイ。經助ガヒトリ家デシヨンボリシテキル。今日辻堂カラ陸子ガ子供達ヲ連レテ來ルノデ、ソレヲ心待チニシテキルラシイ。

午後一時過ギ杉田氏來診。コレハ予ガアマリ痛ガルノデ、兎モ角モト佐々木看護婦ガ心配シテ電話シタノデアル。東大梶浦内科ノ診斷デハ、今日デハ腦中樞ノ病巢ハ殆ドヨクナツテキル。ソレニ痛ミガアルト云フノハ腦ノ方ノ病氣デハナイ。癱瘓性モシクハ神經痛ノ如キモノニ變化シテキル證據デアルト云フ。杉田氏ノ意見デ、整形外科ノ方へ行ツテ見テ貰ツタラト云フノデ、先日虎ノ門病院デレントゲンヲ撮ツタノデアルガ、頸椎ノ邊ニ疊リガアルシ、手ノ痛ミガソナニ激シイノナラ、事ニ依ルト癌カモ知レナイト嚇